

○新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋市立東部医療センター	
【地域医療構想を踏まえた役割】（P18）	
市立病院は、救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療など民間医療機関による提供が必ずしも十分でない政策的な医療に取り組むとともに、がん、心臓血管疾患、脳血管疾患など医療需要の高い疾患に対する高度・専門医療など各市立病院の特長を活かした医療を提供するなど、市民が安心して適切な医療を受けることができる地域の医療体制の構築に貢献していきます。	
東部医療センターは、地域医療支援病院として、地域の医療機関からの紹介患者に対する医療の提供はもちろんのこと、研修会の開催などを通じて、地域の医療機関の人材育成を図り、地域の医療水準の向上に努めます。	
市立病院における病床の医療機能としては、「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」の4つの医療機能うち、東部医療センターは「高度急性期」「急性期」を担っています。	
【再編・ネットワーク化】（P19）	
これまでの計画・プランに基づいて進めてきた市立病院の再編・ネットワーク化としての「西部医療センターの開設」「東部医療センター救急・外来棟の開設」に引き続き、「東部医療センター新病棟の整備」を推進します。また、愛知県地域医療構想では、病床の機能分化と連携を進める必要があるとしていることから、愛知県における地域医療構想を実現するための施策の検討状況などを注視しながら、市立病院全体として、市民の医療ニーズに的確に応えることができるよう、適切な対応を検討していきます。	
＜経営形態の見直し＞	
平成20年度から地方公営企業法の規定の全部を適用して以降、これまで城西病院、緑市民病院及び守山市民病院の経営形態の見直しや、西部医療センター及び東部医療センターの再編・ネットワーク化を進め、現在に至っています。	
東部医療センターについては、様々な側面からこれまでの改革の取り組み状況や成果を検証するとともに、安定した人材の確保など総合的な観点から、地方独立行政法人化も含め経営形態の見直しの必要性について検討していきます。	

【数値目標について】（P21～P37）

	平成28年度 (見込み)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
救急搬送件数	7,600件	7,900件	8,200件	8,400件	8,700件
救急搬送応需率	86%	87%	88%	88%	89%
救急搬送後入院率	35%	40%	40%	40%	40%
心臓カテーテル検査件数	690件	695件	700件	720件	720件
PCI件数	260件	265件	270件	290件	290件
アブレーション件数	250件	255件	260件	280件	300件
脳卒中入院患者数	880人	900人	1,000人	1,200人	1,200人
脳血管内治療件数	70件	90件	100件	110件	110件
内視鏡下手術件数	880件	900件	920件	940件	960件
内視鏡検査件数	4,500件	5,000件	5,200件	5,500件	6,000件
手術件数	4,500件	4,600件	4,800件	4,900件	5,000件
リハビリテーション単位数	74,000単位	78,000単位	78,000単位	78,000単位	78,000単位
入院患者満足度	-	85%	85%	95%	95%
外来患者満足度	-	80%	80%	80%	80%
紹介率	60%	62%	62%	62%	62%
逆紹介率	94%	90%	90%	90%	90%
初期臨床研修医数	17人	18人	18人	18人	18人
認定看護師数	14人	14人	16人	17人	18人
経常収支比率	93.6%	94.7%	95.2%	94.7%	94.0%
医業収支比率	84.7%	86.3%	86.9%	85.4%	85.0%
職員給与費対医業収益比率	60.7%	59.4%	58.8%	59.1%	56.5%
材料費対医業収益比率	27.9%	30.1%	30.1%	30.1%	30.1%
経費対医業収益比率	18.2%	16.3%	16.2%	16.1%	15.2%
減価償却費対医業収益比率	10.5%	9.7%	9.5%	9.0%	12.4%
入院患者数(1日平均)	402.8人	430人	430人	430人	430人
病床利用率	80.9%	86.3%	86.3%	86.3%	88.4%
外来患者数(1日平均)	917.0人	940人	940人	940人	1,000人
入院診療単価	62,380円	66,916円	67,809円	68,650円	69,838円
外来診療単価	10,020円	10,336円	10,336円	10,336円	10,427円
患者未収金額	75,182千円	67,689千円	61,067千円	59,535千円	58,230千円
後発医薬品の使用割合	78%	79%	80%	80%	80%